

アーティストブック

担当教員 山本晶

受講アトリエ 【801】

2025/04/22(火)-07/08(火)

13:30-16:30

授業内容

一枚の絵画ではなく、一冊という形式で、あるいはそもそも「本」という形式を利用して自身の世界観を表現したものをアーティストブックといいます。どんな表現を自分は好きなのか、2年間に発見した興味やこれから試してみたい表現など、ワークショップ形式で実験を通じて一冊の本を作ります。

授業スケジュール／計画

			指導	3限・4限	準備・内容
1	4月22日	火	○	オリエンテーションと製本	
2	5月20日	火	○	地図帳を作る	20日までに地図で表したい場所の候補を複数選びその資料（地図や写真、切り抜きなど）を持ってくる 例：育った場所、思い出の場所、架空の街など自由
3	5月27日	火	○		制作
4	6月3日	火	○		地図を入れる箱作り 箱のための素材：厚紙や段ボールなど、既製品のアクリルボックスなどでも自由
5	6月10日	火	○	アーティストブック	内容・ストーリーを考える （今までの作品やドローイング新しい作品やドローイングを集めてどんな構成にするかを考える）
6	6月17日	火	○		集める／編集をする （必要な作品とそうでないものなどを選び分ける）
7	6月24日	火	○		制作
8	7月1日	火	○		一冊の本に綴じる（綴じ方自由）
9	7月8日	火	○	講評会	

学習目標

気になっている表現方法や、新しく取り組みたい表現方法など、あるいは「アートの現場」のギャラリー巡りで興味を持った表現方法など、積極的に取り組めるようにする。

さまざまな表現を実際に取り組むため、画材や素材を研究し、自分に合った表現方法・描き方を探る。

予習・準備物

2回に分けて2つの表現方法を行います。各回準備物が変わります。基本的には水性絵具、画用紙のスケッチブック、いつも使っている道具一式をアトリエに準備しておいてください。

注意事項

評価方法

授業態度・作品

3年 ファインアート科 絵画専攻/版画専攻

ステイトメント

担当教員 工藤礼二郎
受講アトリエ 【501】

2025/04/16(水)- 07/02(水)
11：00-12:30

授業内容
各自の制作テーマに沿ったステイトメントを7月の郊外展に向けて確立する。またそれらを元にポートフォリオの充実を図る。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月16日	水	○	—	/ 制作			
2	5月7日	水	○	—	/ 制作			
3	5月21日	水	○	—	/ 制作			
4	6月4日	水	○	—	/ 制作			
5	6月18日	水	○	—	/ 制作			
6	7月2日	水	○	—	/ 制作			

学習目標
ステイトメントの確立により、自らの作品の方向性を簡潔かつ明確に言語化し、第三者の作品理解を深めることを目的とする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

アートの現場

担当教員 山口藍
受講アトリエ 【801】

2025/04/17(木)- 07/03(木)
13:30-16:30

授業内容

授業期間に開催されている展覧会を実際に巡り関係者に話を伺い、それぞれ考察した内容を発表し互いの意見を尊重しつつ作家の意図することを紐解いていく。同時に各自が今後予定している校内外での展示に繋がるよう、作品のみならず展示空間を構成する意識を持って臨む。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月17日	木					指導日	
2	4月24日	木					指導日	
3	5月22日	木		指導日（教室）			指導日（ギャラリー巡り）	
4	5月29日	木					指導日	
5	6月5日	木					指導日	
6	6月12日	木					指導日	
7	6月19日	木					指導日	
8	6月26日	木					指導日	
9	7月3日	木					講評会	

学習目標

可能な限り多様なギャラリーを巡り、作家やギャラリストスタッフなど現場での様々な視点を自分なりに解析し、社会における美術の在り方を積極的に考察しながら自分の作品の核心を探る。

予習・準備物

予めアートフェア東京に出展しているようなギャラリーの名前などは把握しておきましょう。どのような作家を取り扱っているのかも知っておくと良いでしょう。またそれらの中で、授業期間中に開催されている展覧会もチェックし、観たい展覧会があれば初回授業に提案してください。筆記用具など、考察に必要と思えるものをそれぞれ準備してください。

注意事項

ギャラリー訪問日は開廊状況に応じて授業を午後に変更する場合があります。

評価方法

授業態度及びレポート提出

絵画総合研究

担当教員 工藤礼二郎、室井公美子、山本晶
受講アトリエ【801】

2025/04/09(水)-07/12(土)
9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

思いつきからワクワクする表現へどうやって繋がればいいのか。9:20に集まって今日（こんにち）の美術について簡単なレクチャーがあります。それを聞いてからの制作となります。個人の視点がどのように表現方法につながるのか。個人の内側にある発想が公共空間に置かれた時にどのように映るのか。演習を通して体験します。

授業スケジュール／計画

		指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月9日	水	○	－	オリエンテーション		※工藤・室井
2	4月10日	木					
3	4月11日	金					
4	4月12日	土	－	－		－	
5	4月13日	日					
6	4月14日	月					
7	4月15日	火					
8	4月16日	水		ステイトメント			
9	4月17日	木				アートの現場	
10	4月18日	金					
11	4月19日	土	－	－		－	
12	4月20日	日					
13	4月21日	月					
14	4月22日	火				アーティストブック	
15	4月23日	水					
16	4月24日	木				アートの現場	
17	4月25日	金					
18	4月26日	土	－	－		－	
19	4月27日	日					
20	4月28日	月				新入生の日	
21	4月29日	火					
22	4月30日	水					
23	5月1日	木					
24	5月2日	金					
25	5月3日	土					
26	5月4日	日					
27	5月5日	月					
28	5月6日	火					
29	5月7日	水		ステイトメント			
30	5月8日	木				アートの現場	
31	5月9日	金					
32	5月10日	土	－	－		－	
33	5月11日	日					
34	5月12日	月				健康診断	
35	5月13日	火				古美術研修旅行	
36	5月14日	水				↓	
37	5月15日	木				↓	
38	5月16日	金				↓	
39	5月17日	土	－	－		－	
40	5月18日	日					
41	5月19日	月					
42	5月20日	火				アーティストブック	
43	5月21日	水		ステイトメント			

44	5月22日	木			アートの現場	
45	5月23日	金				
46	5月24日	土	—	—	—	
47	5月25日	日				
48	5月26日	月				
49	5月27日	火			アーティストブック	
50	5月28日	水				
51	5月29日	木			アートの現場	
52	5月30日	金				
53	5月31日	土	—	—	—	
54	6月1日	日				
55	6月2日	月				
56	6月3日	火			アーティストブック	
57	6月4日	水		ステイトメント		
58	6月5日	木			アートの現場	
59	6月6日	金				
60	6月7日	土	—	—	—	
61	6月8日	日				
62	6月9日	月				
63	6月10日	火			アーティストブック	
64	6月11日	水				
65	6月12日	木			アートの現場	
66	6月13日	金				
67	6月14日	土	—	—	—	
68	6月15日	日				
69	6月16日	月				
70	6月17日	火			アーティストブック	
71	6月18日	水		ステイトメント		
72	6月19日	木			アートの現場	
73	6月20日	金			講評	工藤/室井/山本
74	6月21日	土	—	—	—	
75	6月22日	日				
76	6月23日	月				
77	6月24日	火			アーティストブック	
78	6月25日	水				
79	6月26日	木			アートの現場	
80	6月27日	金				
81	6月28日	土	—	—	—	
82	6月29日	日				
83	6月30日	月				
84	7月1日	火			アーティストブック	
85	7月2日	水		ステイトメント		
86	7月3日	木			アートの現場	
87	7月4日	金				
88	7月5日	土	—	—	—	
89	7月6日	日				
90	7月7日	月				
91	7月8日	火			アーティストブック	
92	7月9日	水				
93	7月10日	木				
94	7月11日	金				
95	7月12日	土	—	—	—	

学習内容

2年次に行ってきた実習・演習を通して模索してきた各自のテーマを大作制作に繋げるべく、表現形式や支持体、描画材料など総合的に検証し9月の校外展のための作品制作を行う。

予習・準備物

注意事項

評価方法